令和８年度アレルギー講演会　開催要領

１　目　的

アレルギー疾患により医療機関を受診する患者数は近年増加傾向にあるが、膨大な情報が氾濫する中で、正しい情報の選択が困難な状況にある。また、食物アレルギーについては、アナフィラキシーショックを起こし、適切な対応をしないと重篤な状況に陥ることがある。

特に乳幼児は、食物アレルギー有病者数が多いうえ、自己管理ができない年齢であることや栄養管理が成長発達に大きな影響を及ぼすことなどから、保育所等での組織的な対応が重要である。

そこで、保健・医療・保育（福祉）・教育・行政関係者等を対象に、食物アレルギーの知識並びに保育所等における実践事例についての情報提供を行い、関係者の資質向上を図るとともに、保育所等での組織的な食物アレルギー対応を促進する。

２　対　象

県及び市町の保健師・保健福祉等の関係職員、保育所の保育士等関係者、幼稚園等教育関係者、児童福祉施設、障害児支援施設等の職員、医療機関等の看護師・栄養士　等（会場定員 150 名程度）

３　日　時

令和９年１月 13 日（水）14：00～16：00

４　形式・場所

形式　ハイブリット形式（会場＋Web）

会場　広島県庁　本館６階　講堂（広島市中区基町 10-52）

５　内　容

（１）開会あいさつ（14：00～14：05）

（２）講演（14：05～15：05）

演題

「アレルギー、アナフィラキシー　～傾向と増えた選択肢～」

講師　独立行政法人労働者健康安全機構　中国労災病院　小児科　小野大地先生

内容　食物アレルギーの基礎知識、食物アレルギー・アナフィラキシーの初期対応　等

（３）エピペンを用いた実習（15：05～15：35）

（４）質疑応答（15：35～15：55）

（５）閉会（16：00）

６　主催・共催

広島県主催、広島市共催